

Express5800/320Lb(-R) ユーザーズガイド正誤表

856-123509-001-C

2007 年 3 月 第 3 版

説明書名 : Express5800/320Lb(-R) ユーザーズガイド (856-122693-001-C) 第3版

【区分】A:追加 C:訂正 D:削除 E:その他

■ 1 使用上のご注意

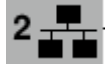
Page	位置	区分	誤	正
1-2	ラベル貼り付け図 背面図	C		別紙 3 の図と差し替え
1-3	ラベル図	D		ラベル B を削除
1-3	ラベル図	A		別紙 3 の図 ラベル F を追加
1-4	ラベル貼り付け図 背面図	C		別紙 4 の図と差し替え
1-5	ラベル図	A		別紙 4 の図 ラベル F を追加
1-9	設置・移動・保管・ 接続に関する注意 事項 注意	C	一人で持ち上げない 本装置の質量は約 70kg（構成によ って異なる）あります。一人で運ぶと腰を 痛め るおそれがあります。装置は四人以上で 底面をしっかりと持って運んでくださ い。また、フロントベゼルを持って、持ち 上げないでください。フロントベゼル が外れて落下し、けがの原因となりま す。	持ち上げて移動する際はモジュールを抜く 本装置の質量は約 70kg（構成によって異なる） あります。 装置を持ち上げて移動する際は実装されている モジュールを取り外し、本体とは別に運んでくださ い。本体は二人以上で底面をしっかりと持って運ん でください。 また、フロントベゼルを持って、持ち上げないでくだ さい。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因 となります。
1-12	ラックマウントモデル に関する注意事項 注意	C	一人で持ち上げない 本装置を運ぶときは四名以上で底面を しっかりと持って運んでくださ い。また、フロントベゼルを持って、持ち 上げないでください。フロントベゼル が外れて落下し、けがの原因となりま す。	移動する際はモジュールを抜く 本装置をラックから取り外して移動する際は、実 装されているモジュールを全て取り外してから運ん でください。

■ 2 知っておきたいこと

Page	位置	区分	誤	正
2-11	⑭ LAN コネクタ 2	C	⑭ LAN コネクタ 2	⑭ LAN コネクタ 1
2-11	⑮ LAN コネクタ 1	C	⑮ LAN コネクタ 1	⑮ LAN コネクタ 2
2-16	BMC ステータスラ ンプ	C	緑色に点灯	片系(プライマリ側)のみ緑色に点灯
2-18	PCI モジュールステ ータスランプ 1/2	C		別紙5の表と挿し替え
2-21	LAN コネクタのラン プ	C	100/10 ランプ(LAN コネクタ 1)・ 1000/100/10 ランプ(LAN コネクタ 2)	100/10 ランプ(LAN コネクタ 2)・1000/100/10 ランプ(LAN コネクタ 1)
2-21	LAN コネクタのラン プ 内の表	C	LAN コネクタ 1 100/10	LAN コネクタ 2 100/10
2-21	LAN コネクタのラン プ 内の表	C	LAN コネクタ 2 1000/100/10	LAN コネクタ 1 1000/100/10

2-21	LAN コネクタのランプ 内の表 1000/100/10 ランプの消灯時の説明	C	10BASE-T で動作していることを示します。	100BASE-T または 10BASE-T で動作していることを示します。
2-24	電源の ON 項 1 ヒント	C	Express5800/ft サーバの AC 電源を ON にすると、通電後、PCI モジュール間にて BMC の同期を行います。BMC の同期が完了すると、PCI モジュールのどちらか一方の POWER ランプが点灯します	Express5800/ft サーバの AC 電源を ON にすると、通電後、PCI モジュール間にて BMC の同期を行います。(セカンダリ側の BMC ステータスランプが点滅します。)

■ 3 セットアップ

Page	位置	区分	誤	正
3-5	タワーモデルの設置注意	C	一人で持ち上げない	持ち上げて移動する際はモジュールを抜く
3-6	「重要」の上	C	設置場所が決まったら、四人以上で Express5800/ft サーバの底面をしっかりと持って、設置場所にゆっくりと静かに置いてください。	設置場所が決まったら、二人以上で Express5800/ft サーバの底面をしっかりと持って、設置場所にゆっくりと静かに置いてください。
3-6	「重要」	C	装置前面のフロントドアを持って、持ち上げないでください。フロントドアが外れて落下し、装置を破損してしまいます。	フロントベゼルを持って、持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、装置を破損してしまいます。
3-17	接続図 LAN コネクタ	C	 100Mbps のネットワークへ	 100Mbps のネットワークへ
3-17	接続図 LAN コネクタ	C	 1000Mbps のネットワークへ	 1000Mbps のネットワークへ
3-18	重要	C	電源コネクタ A はグループ 1 用、電源コネクタ B はグループ 2 用です。	電源コネクタ B はグループ 1 用、電源コネクタ A はグループ 2 用です。
3-36	ftサーバセットアップの前準備	C	重要: ftサーバセットアップ開始前に必ず、以下に示す前準備を行ってください。この前準備を行わない場合、セットアップが正しく行われません。	ft サーバセットアップ開始前に以下の 2 つの前準備を行ってください。前準備を行わない場合、セットアップが正しく行われません。 ーハードディスクの初期化 ーExpress5800/ft サーバ本体の準備
3-37	ft サーバセットアップの前準備 手順 2 <AC 電源が ON の場合>(5) の後	A	緑色に点灯	(6)PCI モジュール(グループ 1 用/グループ 2 用)の 2 つの BMC ステータスランプが消灯していることを確認する。 (2-6、2-7 ページ「装置前面」の⑤) 重要: BMC ステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、ft サーバセットアップを開始しないでください。セットアップが正しく行われずおそれがあります。
3-67	システムのアップデート 重要な 3 つ目	D	●オプションの PCI ボードは、すべて取り外してからアップデートを開始してください。	(削除)
3-67	システムのアップデート 2.	C	2.LAN の二重化を解除する。	2.LAN の二重化を解除する。 オンボード、オプションボード共にを行います

3-68	システムのアップデート c)の 1～7 行目	C	c)アダプタを2重化より取り除く。 [Intel(R)PROSetII]ダイアログボックスの左側のコントロールツリーよりアダプタ [Stratus emb-82559 10/100Enet Adapter]を右クリックし、[Remove from Team]を選択します。	c)すべてのアダプタを2重化より取り除く。 [Intel(R)PROSetII]ダイアログボックスの左側のコントロールツリーより以下のアダプタを選択して右クリックし、[Remove from Team]を選択します。 ＜オンボードの場合＞ ・Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter ・Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter ＜オプションボードの場合＞ ・Stratus AA-U51500 10/100 Enet Adapter(100BASE-TX) ・Stratus AA-U57000 Fiber Gigabit Adapter(1000BASE-SX) ・NEC 8490XT Copper Gigabit Adapter(1000BASE-T)
3-68	システムのアップデート c)の 14～16 行目	C	もう一方のアダプタ[Stratus emb-82559 10/100Enet Adapter]に対しても同じように取り除いてください。 [Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter]についても、同様の手順で取り除いてください。	もう一方のアダプタに対しても同じように取り除いてください。 ＜オンボードの場合＞ ・Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter ・Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter ＜オプションボードの場合＞ ・Stratus AA-U51500 10/100 Enet Adapter(100BASE-TX) ・Stratus AA-U57000 Fiber Gigabit Adapter(1000BASE-SX) ・NEC 8490XT Copper Gigabit Adapter(1000BASE-T)
3-68	システムのアップデート d)の 8～10 行目	C	[Team #2:Adapter Fault Tolerance Mode]についても同様の手順で取り除いてください。	[Intel PROSet II]ダイアログボックスに表示されているすべての Team を同様の手順で取り除いてください。
3-70	システムのアップデート 5 の後	A		別紙1のページを追加
3-71	Windows 2000 Service Pack の適用	D	4.[スタート]ー[プログラム]からエクスプローラを起動する。 5.システムを再起動する。	(削除)

■ 4 システムのコンフィグレーション

Page	位置	区分	誤	正
4-15	Monitoring Configuration 表内 Option ROM Scan Monitoring の出荷時の設定	C	[Disabled] Enabled	Disabled [Enabled]
4-40	CMOS のクリアについて	C		別紙2のページと置き換え
4-43	パスワードのクリアについて	C		別紙3のページと置き換え

■ 5 ユーティリティのインストールと操作

Page	位置	区分	誤	正
5-22	アラート通報内のデバイス ID について 表内のデバイス名	C	CPU モジュール 1 上の DIMM5 CPU モジュール 1 上の DIMM6	CPU モジュール 3 上の DIMM5 CPU モジュール 3 上の DIMM6
5-37	Inventory サービスのイベントログ出力について	C	システム負荷等によりシステムから情報が取得できない場合にシステムイベントログに以下のメッセージが登録されます。 また、SNMP のコミュニティ名が public 以外の場合も同様に以下のメッセージが登録されます。 以下のイベントログメッセージが登録された場合は Inventory サービスの再起動が必要となります。 ただし、SNMP のコミュニティ名が public 以外の場合は再起動を行っても装置構成監視は行われません。	システム負荷等によりシステムから情報が取得できない場合にシステムイベントログに以下のメッセージが登録されます。 以下のイベントログメッセージが登録された場合は Inventory サービスの再起動が必要となります。
5-100	ダイレクト接続(シリアルポート B)された管理 PC から実行する 手順 12 "ヒント"の下	A		<重要>: MWA を Console Redirection(WAN 経由や direct 経由)でセットアップするときには、BIOS セットアップユーティリティの[System Hardware]→[Console Redirection]メニューにある[SerialPort Address]の設定を「Onboard COM B」に設定してください。詳しい説明については、4章の「システム BIOS」を参照してください。

■ 7 故障かな？と思ったときは

Page	位置	区分	誤	正
7-21	表内 0B32 CPU FAN #3 Alarm Occurred 原因	C	(c)PCI モジュールボードが故障しています。	(c)CPU モジュールボードが故障しています。
7-21	表内 0B32 CPU FAN #3 Alarm Occurred 対処方法	C	(b)PCI モジュールボードを交換してください。	(b)CPU モジュールボードを交換してください。

7-33	ネットワーク上で認識されない	C	□転送速度の設定を間違えていませんか？ → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークでも使用することができます。この転送速度の切り替えや設定はOS上から行えますが、「Auto Detect」という機能は使用せず、接続しているHubと同じ転送速度で固定に設定してください。また、接続しているHubとデュプレックスモードが同じであることを確認してください。 転送速度を固定にするにはPROSet II にて設定します。 左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は[Advanced]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]にて設定を行います。 1000Base-T アダプタの場合は[Link Config]タブをクリックします。[Auto Negotiation]に「Enable」を選択し、[Negotiable Speed and Duplexes]で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。	□転送速度の設定を間違えていませんか？ → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークで使用することができます。 転送速度はPROSet II にて設定します。 左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は [Advanced]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]にて設定を行います。 1000Base-Tアダプタの場合は[Link Config]タブをクリックします。[Auto Negotiation]に「Enable」を選択し、[Negotiable Speed and Duplexes]で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。 Hub側の速度設定は、100Baseアダプタと接続する場合は固定速度設定、1000Base-Tアダプタと接続する場合は、オートネゴシエーションに設定してください。
------	----------------	---	--	---

■ 8 システムのアップグレード

Page	位置	区分	誤	正
8-33	CPU モジュール 重要	C	CPU モジュール本体および PCI モジュール内部品の交換は保守サービス会社に依頼してください。	CPU モジュール本体および CPU モジュール内部品の交換は保守サービス会社に依頼してください。
8-33	CPU モジュール “重要”の下	A		注意事項: ・PCI モジュールおよび CPU モジュールの交換を実施する場合、一方のモジュールを交換しその二重化が完了するのを待ってから、もう一方のモジュールを交換してください。 同時に両モジュールの交換を実施した場合、CPU モジュールまたは PCI モジュールの二重化に失敗する場合があります。(7 章の「トラブルシューティング」参照)
8-48	PCI モジュール 注意事項	A		・PCI モジュールおよび CPU モジュールの交換を実施する場合、一方のモジュールを交換しその二重化が完了するのを待ってから、もう一方のモジュールを交換してください。 同時に両モジュールの交換を実施した場合、CPU モジュールまたは PCI モジュールの二重化に失敗する場合があります。(7 章の「トラブルシューティング」参照)
8-61	オプション PCI ボードのセットアップ N8804-001P1 100BASE-TX 接続ボード	A		重要 この製品に関しては、以下の点にご注意願います。 ・接続する LAN ケーブルのコネクタは、IEC8877 規格に準拠している RJ-45 コネクタを使用してください。標準品以外をご使用になりますと、コネクタが抜けにくくなる場合があります。
8-66	オプション PCI ボードのセットアップ N8104-103 1000BASE-T 接続ボード 重要	A		・接続する LAN ケーブルのコネクタは、IEC8877 規格に準拠している RJ-45 コネクタを使用してください。標準品以外をご使用になりますと、コネクタが抜けにくくなる場合があります。

■ 付録

Page	位置	区分	誤	正
付録 -1	LAN	C	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T(2 ポート)	1000BASE-TX/100BASE-TX/10BASE-T(2 ポート)

別紙 1: システムのアップデート 5 の後に追加

6. システムのアップデート終了後、自動的に再起動される。

再起動が開始されたらCD-ROMドライブからCDを取り出してください。

重要: アップデート処理中「Windows -FTの孤立化 フォールトトレラントボリュームの一部であるディスクにアクセスできません」のメッセージが表示され、その後の再起動において、OSストップエラーとなる場合があります。OSストップエラーが発生した場合には、以下の手順を実施して下さい。なお、システムのアップデートは正常に行われておりますが、ディスクのミラーは外れています。手順7で必ずディスクのミラーを確認してください。

a) POWERスイッチを長押ししてシステムの電源をOFFにする。

b) PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが「消灯」していることを確認する。

重要: BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、c項以降の操作は行わないでください。BMCファームウェアが破壊される恐れがあります。

c) POWERスイッチが緑色点灯しているPCIモジュールを特定する。

このときPCIモジュール(グループ1用)とPCIモジュール(グループ2用)のどちらのPOWERスイッチが緑色点灯しているか覚えておきます。その後、以下のACインレットに接続された電源コードを抜きます。

ACインレットの位置については2-10、2-11ページ「装置背面」を参照願います。

・PCIモジュール(グループ1用)のPOWERスイッチが緑色点灯している場合:

装置背面の「②ACインレット」(上部のACインレット。詳細は2-10、2-11ページ「装置背面」参照。)に接続された電源コードを抜く。

・PCIモジュール(グループ2用)のPOWERスイッチが緑色点灯している場合:

装置背面の「⑤ACインレット」(下部のACインレット。詳細は2-10、2-11ページ「装置背面」参照。)に接続された電源コードを抜く。

d) c項で覚えておいたPCIモジュールと違う側のPCIモジュールのPOWERスイッチが緑色点灯することを確認する。

重要: POWERスイッチの緑色点灯がc項へ覚えておいたPCIモジュールと違う側に変わらなかった場合は、b項から操作をやり直してください。

e) c項で抜いた電源コードを元通りに接続する。

f) PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが「消灯」することを確認して、g項以降の操作を行う。

重要: BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、g項以降の操作は行わないでください。BMCファームウェアが破壊される恐れがあります。

g) d項でPOWERスイッチが緑色点灯していることを確認したPCIモジュールのPOWERスイッチを押下し、システムの電源をONにする。

7. ディスクのミラーを確認する。

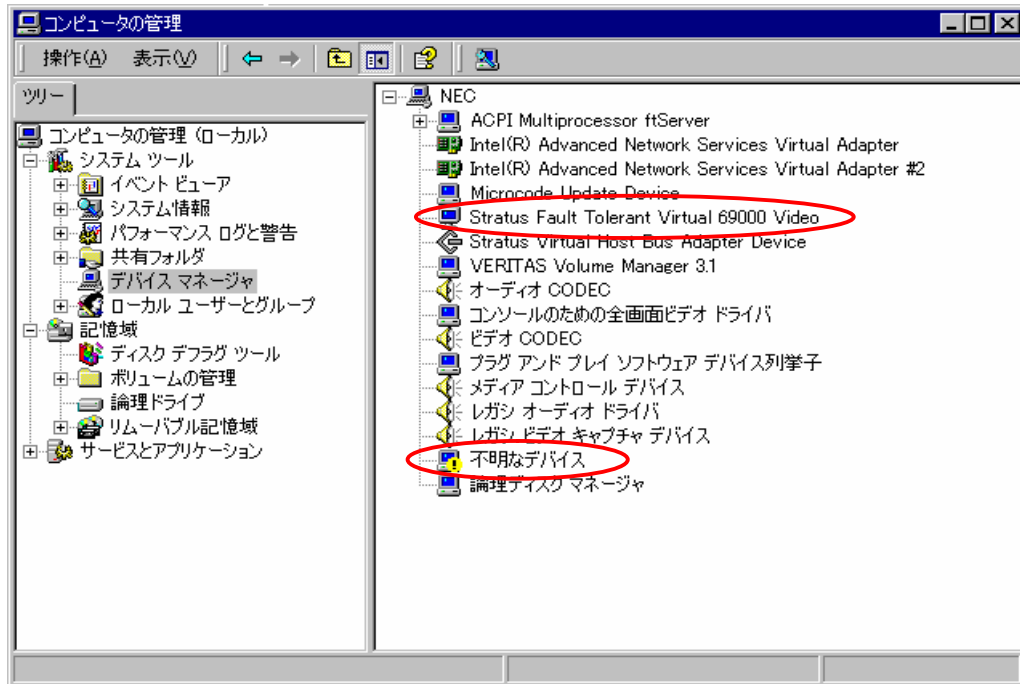
ディスクのミラーが外れている場合はミラーの再設定を行ってください。

注意: ディスクが再同期中の場合は、再同期が終了するまでシャットダウンは行わないでください。

8. デバイスマネージャを起動し、[表示]メニューの[デバイス(接続別)]を選択して以下の操作を行う。

a) 次の図の丸で囲ったデバイスエントリを削除する。

注意: 「ACPI Multiprocessor ftServer」配下の「Stratus Fault Tolerant 69000 Video」は削除しないようにしてください。



削除するデバイスエントリ:

☐ Stratus Fault Tolerant 69000 Video

☐ (!) 不明なデバイス

a-1. 該当デバイスを選択して右クリックし「削除」を選択する。

a-2. 削除の確認ダイアログが表示されますので、デバイス名を確認の上、[OK]をクリックする。

9. オプションボードが接続されている場合は、以下のオプション毎の操作を実行する。

手順5で使用したCD-ROMを使用して以下の操作を行ってください。

a) N8804-001P1(100BASE-TX接続ボード)が接続されている場合

a-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

a-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:¥> CD-ROMドライブ:

a-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してバッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd WINNT¥W2K

a-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥W2K> N8804001.BAT

a-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

b) N8803-002(SCSIコントローラ)が接続されている場合

b-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

b-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:¥> CD-ROMドライブ:

b-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してバッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd WINNT¥W2K

b-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥W2K> N8803002. BAT

b-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

c) N8803-030/031 (Fibre Channelコントローラ)が接続されている場合

c-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

c-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:¥> CD-ROMドライブ:

c-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してバッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd WINNT¥W2K

c-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥W2K> N8803030. BAT

c-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

d) N8104-84 (1000BASE-SX接続ボード)が接続されている場合

d-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

d-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:¥> CD-ROMドライブ:

d-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してバッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd WINNT¥W2K

d-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥W2K> N810484. BAT

d-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

e) N8104-103 (1000BASE-T接続ボード)が接続されている場合

e-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

e-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:¥> CD-ROMドライブ:

e-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してバッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd WINNT¥W2K

e-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥W2K> N8104103. BAT

e-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

10. システムを再起動する。

11. 再起動後、管理者権限のあるユーザでログインする。

重要: システムが正常に二重化されていることを確認します。(装置前面の各PCIモジュールのSTATUS2ランプが緑色に点灯していることを確認してください。)

12. 再度、LANの二重化を行う。

オンボード、オプションボード共に行います。

3-55ページ「LANの二重化設定」及び8-60ページ「N8804-001P1 100BASE-TX接続ボード」、「N8104-84 1000BASE-SX 接続ボード」 「N8104-103 1000BASE-T 接続ボード」を参照してください。書き写しておいたLANの設定をもとに設定し直して下さい。

CMOSのクリアについて

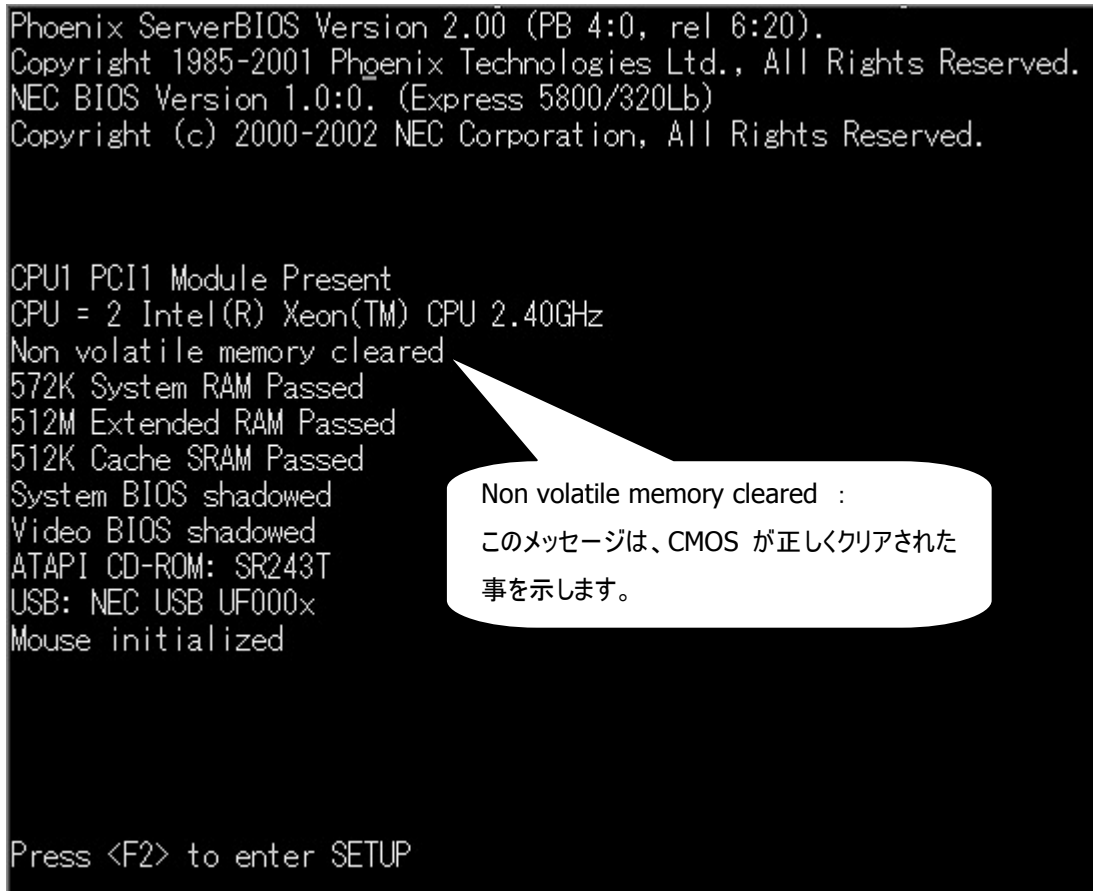
1. Express5800/ftサーバの電源をOFFにして、両方の電源コードをコンセントから抜く。
2. 8-50ページの「取り外し」を参照して両PCIモジュール(PCIモジュール#1、#2)をExpress5800/ftサーバから取り外す。
3. PCIモジュール#1のカバーをオープンする。
4. CMOSクリア用にジャンプスイッチを設定する。
PCIモジュール#1のジャンパピン11-12を取り外してジャンパーピン1-2に取り付ける。
5. 8-52ページの「取り付け」を参照して、PCIモジュール#1のみをExpress5800/ftサーバに取り付ける。
6. 両方の電源コードを接続し、POWERスイッチのランプが点灯したらPOWERスイッチを押して電源をONする。
7. 起動後、以下のメッセージが表示されたら、[CONTINUE]を押す。



チェック:

- ・CMOSクリアが完了し、ジャンパを外すように促すメッセージは、約10秒表示されます。
何もしない場合でも、10秒後に処理が進み、自動的にリブートされますのでご注意ください。
-

8. リブート後、POST中に[Non volatile memory cleared]が表示されたら、POWERボタンを押下して電源をOFFし、両方の電源コードをコンセントから抜く。



Phoenix ServerBIOS Version 2.00 (PB 4:0, rel 6:20).
Copyright 1985-2001 Phoenix Technologies Ltd., All Rights Reserved.
NEC BIOS Version 1.0:0. (Express 5800/320Lb)
Copyright (c) 2000-2002 NEC Corporation, All Rights Reserved.

CPU1 PCI1 Module Present
CPU = 2 Intel(R) Xeon(TM) CPU 2.40GHz
Non volatile memory cleared
572K System RAM Passed
512M Extended RAM Passed
512K Cache SRAM Passed
System BIOS shadowed
Video BIOS shadowed
ATAPI CD-ROM: SR243T
USB: NEC USB UF000x
Mouse initialized

Press <F2> to enter SETUP

Non volatile memory cleared :
このメッセージは、CMOS が正しくクリアされた
事を示します。

重要:

通常の起動時に[Non volatile memory cleared]のメッセージが表示される場合は、CMOSクリアの設定のままになっているのでジャンパスイッチの設定を元に戻してください。

8. 8-50ページの「取り外し」を参照してPCIモジュール#1をExpress5800/ftサーバから取り外す。
9. CMOSクリアジャンパスイッチの設定を元に戻す。
PCIモジュール#1のジャンパピン1-2を取り外してジャンパピン11-12に取り付ける。
-

注意:

その他のジャンパピンに差し込むと誤動作をするおそれがあります。

10. 8-52ページの「取り付け」を参照してPCIモジュール#1をExpress5800/ftサーバに取り付け、ACインレットB(グループ1用)に電源コードを接続する。(POWERスイッチのランプが点灯します。)
11. 同様に、PCIモジュール#2をExpress5800/ftサーバに取り付け、ACインレットA(グループ2用)に電源コードを接続する。
12. 両方の電源コードを接続後、しばらくするとPCIモジュール#2上のBMCステータスランプの点滅が始まる。
13. BMCステータスランプが点滅から消灯に変わるとPCIモジュール#1のクリア情報がPCIモジュール#2に反映される。

注意:

このBMCステータスランプの点滅は、両PCIモジュール間の同期処理を示していますので、点滅が終了するまでそのままお待ちください。

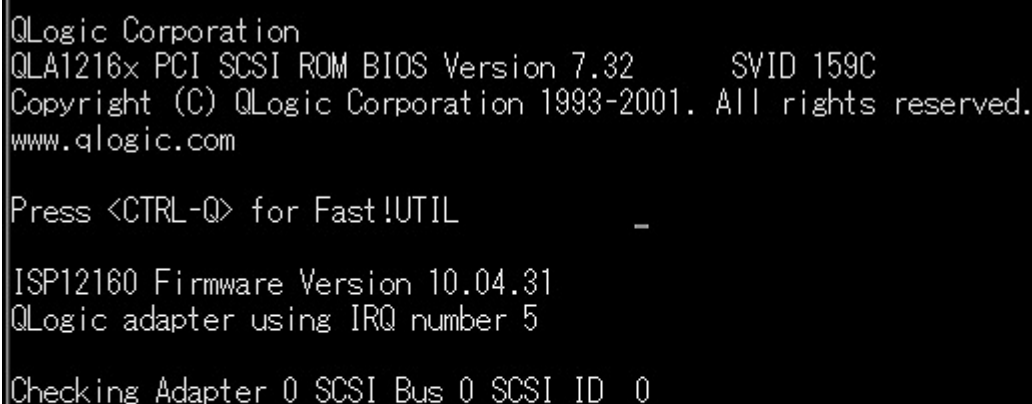
この同期処理が完了することにより、PCIモジュール#2もCMOSクリアを実施した状態と同じになります。

ヒント:

- ・AC インレット A、AC インレット B の位置については 2-6 ページの「各部の名称と機能」を参照してください。
 - ・BMC ステータスランプの位置については、2-6 ページの「各部の名称と機能」を参照してください。
 - ・BMC ステータスランプの内容については、2-15 ページ「ランプ」を参照して下さい。
-

パスワードのクリアについて

1. Express5800/ftサーバの電源をOFFにして、両方の電源コードをコンセントから抜く。
2. 8-50ページの「取り外し」を参照して両PCIモジュール(PCIモジュール#1、#2)をExpress5800/ftサーバから取り外す。
3. PCIモジュール#1のカバーをオープンする。
4. パスワードクリア用のジャンパスイッチの設定をする。
PCIモジュール#1のジャンパピン11-12を取り外し、ジャンパピン3-4に取り付ける。
5. 8-52ページの「取り付け」を参照して、PCI#1モジュールのみをExpress5800/ftサーバに取り付ける。
6. 両方の電源コードを接続し、POWERスイッチのランプが点灯したらPOWERスイッチを押して電源をONする。
7. 起動後、以下のPOST画面が表示されたら、POWERボタンを押下して電源をOFFする。



```
QLogic Corporation
QLA1216x PCI SCSI ROM BIOS Version 7.32      SVID 159C
Copyright (C) QLogic Corporation 1993-2001. All rights reserved.
www.qlogic.com

Press <CTRL-Q> for Fast!UTIL

ISP12160 Firmware Version 10.04.31
QLogic adapter using IRQ number 5

Checking Adapter 0 SCSI Bus 0 SCSI ID 0
```

8. 両方の電源コードをコンセントから抜く。
9. 8-50ページの「取り外し」を参照してPCIモジュール#1をExpress5800/ftサーバから取り外す。
10. パスワードクリアジャンパスイッチの設定を元に戻す。
PCIモジュール#1のジャンパピン3-4を取り外し、ジャンパピン11-12に取り付ける。

注意:

その他のジャンパピンに差し込むと誤動作をするおそれがあります。

11. 8-52ページの「取り付け」を参照してPCIモジュール#1をExpress5800/ftサーバに取り付け、ACインレットB(グループ1用)に電源コードを接続する。(POWERスイッチのランプが点灯します。)
12. 同様に、PCIモジュール#2をExpress5800/ftサーバに取り付け、ACインレットA(グループ2用)に電源コードを接続する。
13. 両方の電源コードを接続後、しばらくするとPCIモジュール#2上のBMCステータスランプの点滅が始まる。
14. BMCステータスランプが点滅から消灯に変わるとパスワードクリア処理が完了する。

注意:

このBMCステータスランプの点滅は、両PCIモジュール間の同期処理を示していますので、点滅が終了するまでそのままお待ちください。

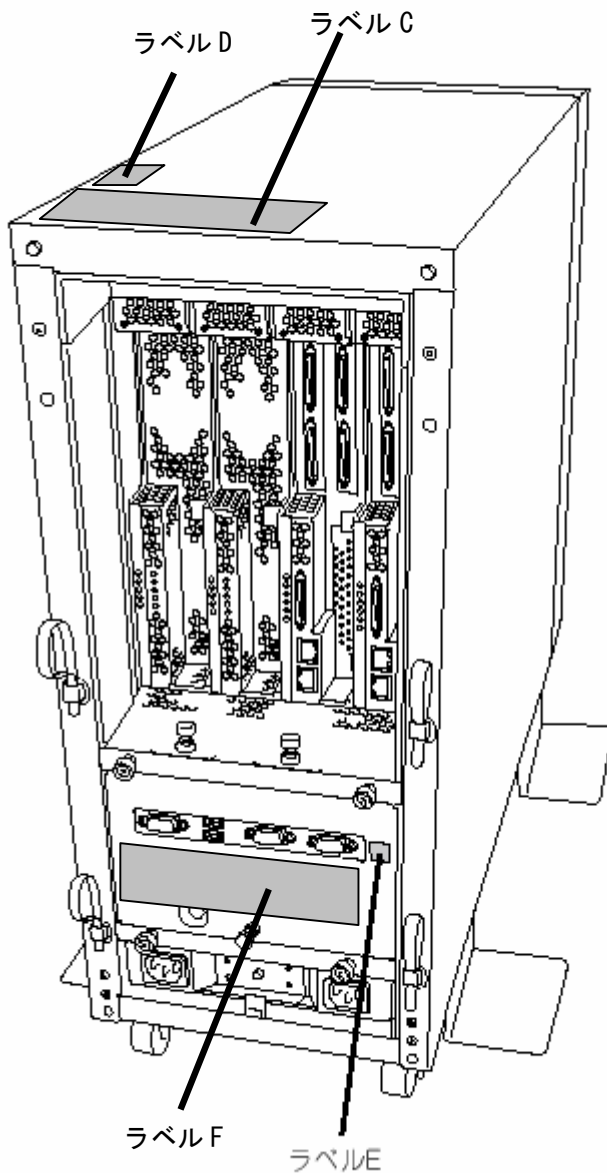
この同期処理が完了することにより、PCIモジュール#2もパスワードクリアを実施した状態と同じになります。

ヒント:

- ・AC インレット A、AC インレット B の位置については 2-6 ページの「各部の名称と機能」を参照してください。
 - ・BMC ステータスランプの位置については、2-6 ページの「各部の名称と機能」を参照してください。
 - ・BMC ステータスランプの内容については、2-15 ページ「ランプ」を参照して下さい。
-

別紙 4:

Page1-2 ラベル貼り付け図 背面図



Page 1-3 ラベル図

ラベル F



注 意 CAUTION

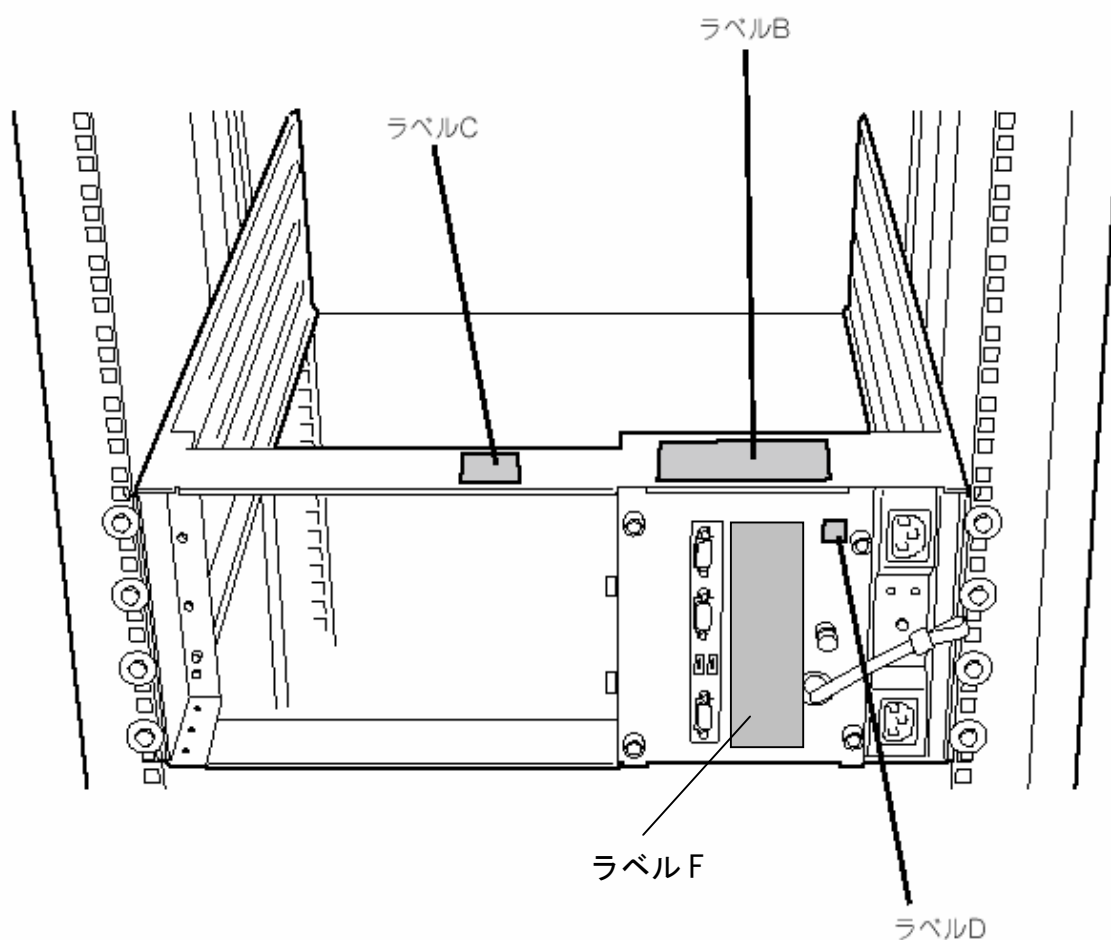
この装置は複数の電源コードを使用しています。保守するときは感電を防止するために必ず全ての電源コードを抜いてください。

This unit uses multiple power supply cords.
Disconnect all power supply cords prior to
Servicing this system



別紙 5:

Page1-4 ラベル貼り付け図 背面図



Page1-5 ラベル図

ラベル F



注 意 CAUTION

この装置は複数の電源コードを使用しています。保守するときは感電を防止するために必ず全ての電源コードを抜いてください。

This unit uses multiple power supply cords.
Disconnect all power supply cords prior to
Servicing this system



別紙5: P2-18 表

ランプの状態			意味	対処方法
 1	 2			
消灯	緑色に点灯	緑色に点灯	両系のPCIモジュールのStatusランプが緑色に点灯およびDISK ACCESSランプが緑色に点滅している時、PCIモジュールがDuplexの状態 で正常に動作しています。	—
			片系だけのPCIモジュールのStatusランプおよびDISK ACCESSランプが緑色に点灯している時、ハードディスクになんらかの異常が発生していることを示します。 このとき、もう片系のPCIモジュールステータスランプ2およびDISK ACCESSランプはアンバー色に点灯します。	ハードディスクのミラーの状態を確認してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
		消灯	片系だけのDISK ACCESSランプが消灯している時、ハードディスクに電源が供給されていないことを示します。 このとき、もう片系のPCIモジュールステータスランプおよびDISK ACCESSランプはアンバー色に点灯します。	ハードディスクのミラーの状態を確認してください。 ハードディスクを取り付けなおしてください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
	消灯	消灯	PCIモジュールへAC電源が供給されていない。	PCIモジュールを取り付け直してください。 電源ユニットの状態を確認してください。 電源コードの接続状態を確認してください。 ブレーカやUPSの状態を確認してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
	アンバー色に点灯	緑色に点灯	PCIモジュールがSimplexで動作しています。オプションPCIボードに何らかの故障が発生しているか、オプションPCIボードに接続されるべきケーブルが片方抜けている、またはPCIモジュール上のLANコネクタに接続されるべきLANケーブルが片方抜けている可能性があります。	オプションPCIボードが正しく取り付けられているか、またはPCIモジュールやオプションPCIボードのコネクタにケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
		アンバー色に点灯	両系のPCIモジュールのStatusランプおよびDISK ACCESSランプがアンバー色に点灯しているときは、ミラーリング実行時、Duplexモードへ移行している途中の状態です。	ミラーリング終了までお待ちください。
			PCIモジュールが正しく取り付けられ、Simplexモードで動作している。	Ftサーバ機能を利用するためにもう一方のPCIモジュールを起動してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤色に点灯	緑色に点灯	消灯	PCIモジュールが診断(Diag)を実行している。	—
	消灯	消灯	スタンバイ状態。(電源コードが接続されAC電源が供給されているが、装置の電源がONになっていない)。	装置の電源ON後からOSが起動するまでは、そのままお待ちください。OSが起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。表示が戻らない場合は、CPUモジュールを取り付け直してください。
			PCIモジュールの故障により、電源が供給されていない。	CPUモジュールを取り付け直してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
	アンバー色に点灯	緑色に点灯 アンバー色に点灯	メモリダンプ中。	—



856-123509-001- CQ